

講義名	日本語資格試験講座 【留学生科目】		
担当教員	山田 勇人		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限	授業形態	演習
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
日本語能力試験N1の受験に向け、N1の文法、文字語彙、聴解、読解に対応できる日本語能力をつけることを目的とする。日本語能力試験N2の問題を解きながら、自分の弱い点を確認したり、新たな知識をインプットし、日本語能力試験N1の合格を目指す。			
到達目標			
日本語能力試験N1レベルの文法、文字語彙、聴解、読解の各分野の問題が解けるようになる。加えて、自分の日本語能力の弱点を克服し、日本語能力試験N1に合格できることを目指す。			
提出課題			
予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
質問がある場合は、その都度、回答に応じる。			
評価の基準			
期末試験（50％） 中間試験（30％） 授業への参加度（20％）			
履修にあたっての注意・助言他			
授業では必ず事前に課題を出すので、その課題を行ったうえで授業に臨むこと。 出欠は、毎回とり、全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。			

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
授業内で資料を配布する。				
授業計画				
1	ガイダンス、日本語能力試験N1試験を行い、自分の弱点を知る			
2	文字・語彙、文法、読解（対比を含む文章）			
3	文字・語彙、文法、聴解（課題理解）			
4	文字・語彙、文法、読解（言い換えを含む文章）			
5	文字・語彙、文法、聴解（ポイント理解）			
6	文字・語彙、文法、読解（疑問提示文を含む文章）			
7	文字・語彙、文法、聴解（概要理解）			
8	中間試験（これまで学習した問題を振り返る）			
9	フィードバック、第1回の試験結果と比較する			
10	文字・語彙、文法、読解（指示代名詞を含む文章）			
11	文字・語彙、文法、聴解（即時応答）			
12	文字・語彙、文法、読解（必要な情報を探し出す）			
13	文字・語彙、文法、聴解（協同理解）			
14	模擬試験を行う 文字・語彙、文法、聴解			
15	模擬試験を行う 読解、フィードバック			
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
○ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク		
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク		
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
学習する文法について、テキストの復習問題をしていくこと...約2時間程度 授業内で解説した箇所を確認し、解答できなかった問題を再度行うこと...約2時間程度				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
留学生を対象とした科目群で、日本語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、読解等を通して、日本の社会あり様について学ぶことを目的とする科目である。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
実務経験の有無及び活用				
備考				